

グループ発表

私は営利を追求する会社の人間であるということと。もう2名の方はNPO法人でその温度差を正直なところを感じたが、よい意味で。少し切磋琢磨しながら発表させていただきます。

まずは、職場の現状についてです。これは、「こんな職場は嫌だ」というパターンをいくつか挙げてみました。

一部の人だけが勉強しておけばいいんじゃないか、俺は関係ないと思っている、〇〇のくせに発表するな、職場の壁を作って自分たちの部署以外には口出しするな、そして、大きな声を出す人がいる、萎縮して黙っておくんだ、というような方々が多いのが現状です。正直に言って、うちの会社にもそのようなところがあります。

「こんな職場は嫌だ」という点をどう改善すべきかというところで、まず大きな視点で理想的な職場を考えると、「誰もが働きやすい職場」。これは物理的な環境に関することになるとは思いますが、そのような観点でまとめてみました。バリアフリーで、NO 残業、子どもを連れて来られるような会社、そんな場所ですね。

また、業務時間との兼ね合いもあります、人手不足を解消しよう。疲れを隠さない、家庭に仕事を持ち込まないといったことが、「働きやすさ」につながると思います。これは心の持ちようだと思うんですよね。これは、「こんな職場が理想的になったらいいな」と。

次に、「こんな職場は嫌だ」ということについてですが、では、どうしたら良いのか。

まず何を勉強したら良いのかがわからないんです。先生がほしいんです。何を勉強すれば良いのかということで、勉強するチャレンジできる、資格が取りやすいような機会を与えてくれる。会社トップの理解があることは、非常に大切。

あと、会社トップの下にいる管理職への教育も大切です。

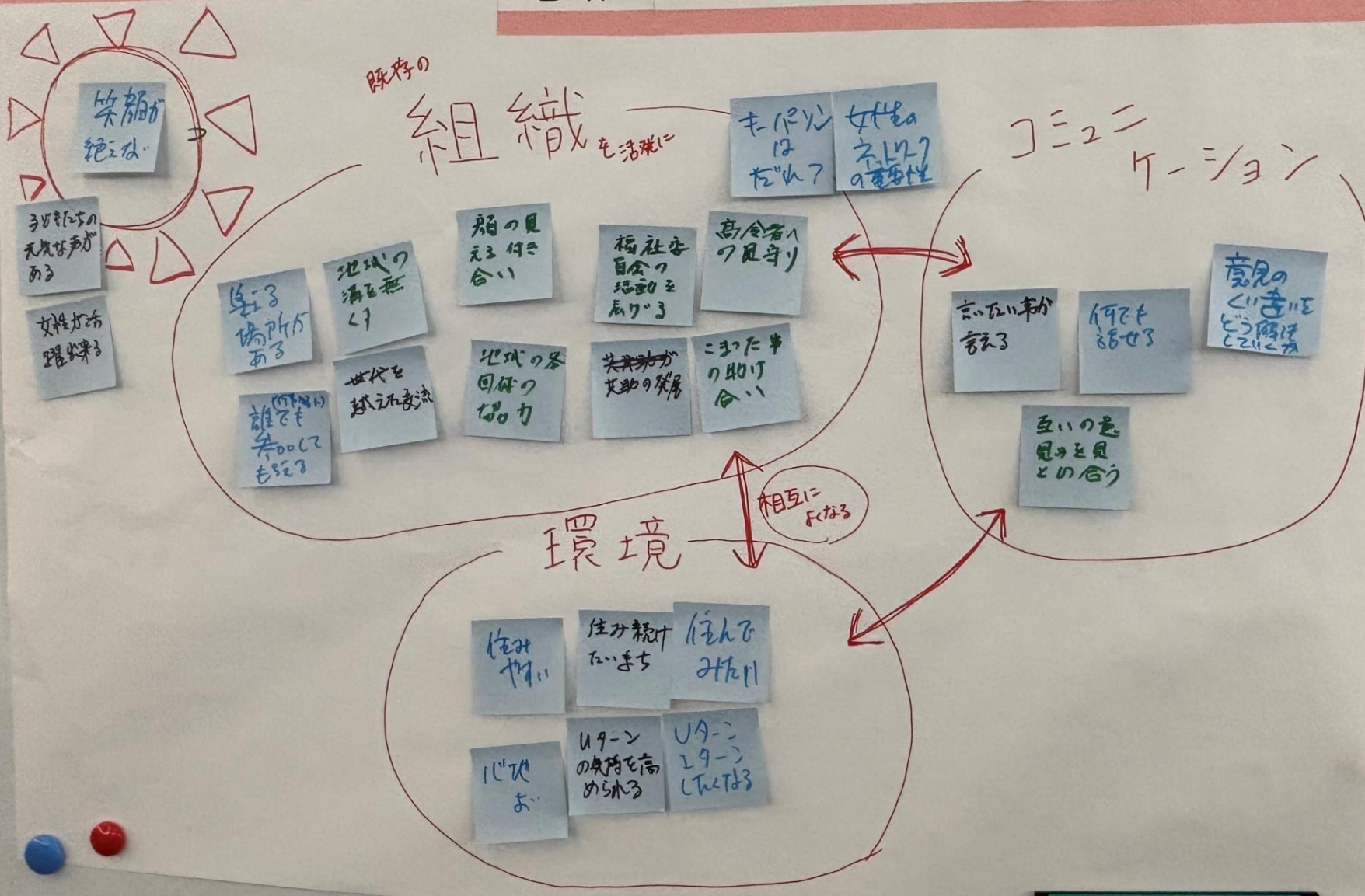
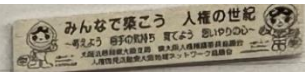
また、コミュニケーションが取りやすい上司と部下、横のつながり、斜めのつながりなど。コミュニケーションを取りながら「働きがい」。先ほどの「働きやすい」と「働きがい」の違いはありますが。

私は売上アップについて考えています。金がたくさん入れば、それが働き甲斐につながり、利益として戻ってきますので、給料が高くなる。そして、賃金と結びつくやりがいが必要。ということで、この2つの到達点を見つめて探してみたのですが、まとめる時間が少なかった。以上です。

第2回ワーキング(全体会) 部会 B 地域

第2回ワーキング(全体会)

地域でめざしたい人権教育・啓発の目標(姿)



グループ発表

私たちのグループでは、地域でめざしたい人権教育・啓発について話し合いました。

最終的に目指すのはこの太陽マークです。人権を認め合い、笑顔の絶えない地域にしたいと思います。

そのためにはどうすればいいのかということで、環境について考えました。やはり、地域の環境がとても大事だと思います。住み続けたいと思える街、心地よいと感じる地域・街にしていかなければならない。

そのためには、やはりコミュニケーションが必要になってくる。地域の人が見の食い違いを、みんながお互いを認め合って、何でも話せる、言いたいことが言える。こういうコミュニケーションを大事にする。

そうすると、環境からコミュニケーションがよくなる。そして、これをまとめるのが地域の組織。福祉委員会、自治振興委員会、まちづくり委員会、育成会などいろんなところがある。それがバラバラに動いているのでは、これをまとめられない。

既存の組織が、新しく組織を作るのはしんどいですから、既存の組織を活性化させて、これらを引っ張っていて、笑顔につなげていく。そのためには、地域の離層をなくしていくこと。若い人 高齢者、世代を超えた交流をはかる。それには団体の協力が必要。困ったときのために、団体が助け合って行動し、PTA、育成会が助け合う、福祉委員会と自治振興委員会も助け合っているということで、しっかりした組織を作れば、この辺がくっついてくるのではないかと思います。

ということで、最終的には太陽が明るく輝く、子どもの元気な声がある、安心してらせるというふうに持って行きたいなと思っています。